

再生可能エネルギーを活用した農業活性化

農業用水を活用した小水力発電設備や地下水熱を活用したハウス、太陽光発電設備を整備し、その再生可能エネルギーを農業等に幅広く活用することで、農山村や地域コミュニティを活性化する自立型の自給モデルを確立する

＜富山市営農サポートセンターでの実施イメージ＞



※イメージ



ヒートポンプ



太陽光発電



小水力発電



国際評価・国際展開

コンパクトなまちづくりや環境施策への国際的な評価

富山市のコンパクトなまちづくりや環境施策に対する**国際的な評価が高まっている**



OECD

2012年6月、OECDが取りまとめた『コンパクトシティ政策報告書』の中で、富山市が先進5都市(ほかメルボルン、バンクーバー、パリ、ポートランド)の一つとして取り上げられる。



SEforALL

2014年9月、国際連合のSE4ALL (Sustainable Energy for All:万人のための持続可能なエネルギー)における、「**エネルギー効率改善都市**」に日本で唯一選定。

富山市のほか、リオデジャネイロ、レオン、リマなど、世界の13都市・地域が選定。



100RC(ロックフェラー財団)

2014年12月、**ロックフェラー財団**によって設立された団体である100RCより、「自然災害や犯罪、テロなど各都市が直面する様々な衝撃や課題に対し、その重圧に耐え、回復する強靱な都市を目指す」、「**100のレジリエント・シティ**」に日本で最初に選定。



世界銀行

2016年7月1日、**世界銀行**の主導する「**都市パートナーシップ・プログラム**」参画都市に選定。

レジリエント・シティの実現に向けた取り組み

災害などに強いまちづくりを推進する「100RC」の理念に賛同する日産自動車より、電気自動車を30台無償貸与される。公用車として配備するほか、給電機能を活かし災害時の非常用電源としての活用も図る。



H29.7.13 日産貸与式典

G7富山環境大臣会合の開催

富山市のこれまでの取り組みや成果が評価され、環境大臣会合の開催都市として選定された。会合では、地球温暖化や気候変動、生物多様性など、7つの議題をテーマに議論された。



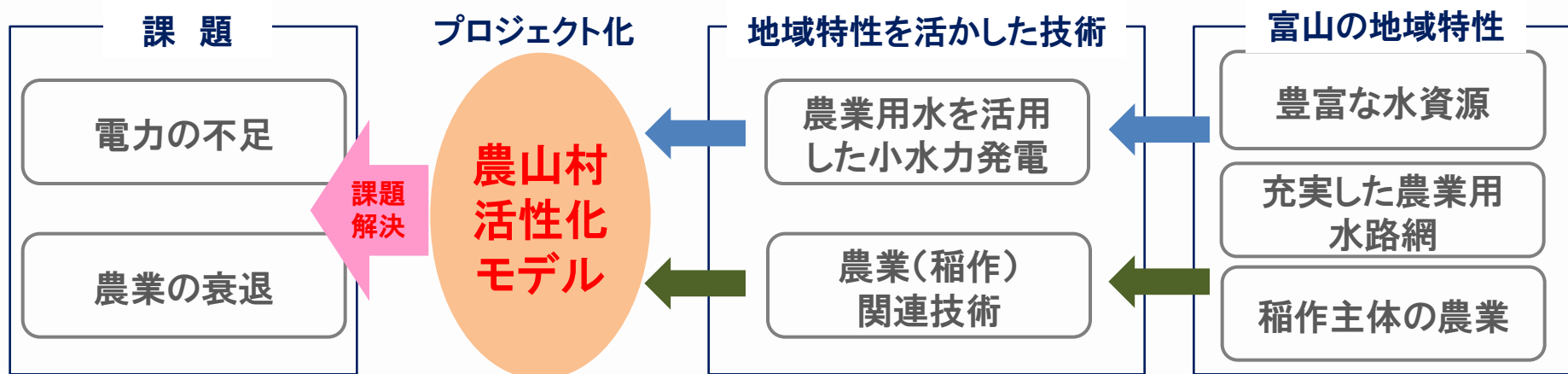
「電力不足」や「農業衰退」の課題を解決するため、富山の地域特性を活かした「農業用水を活用した小水力発電」及び「農業（稲作）関連技術」を用い、「**農山村活性化モデル**」の国際展開を図る



ユネスコ世界文化遺産にも登録されるインドネシア国バリ州タバナン県ジャテルウイの棚田群



平成26年3月21日 インドネシア共和国バリ州タバナン県とプロジェクトの実施に関する協力協定を締結



持続可能な開発目標(SDGs)に向けて

SDGs: 人間及び地球の持続可能な開発のための行動計画とその達成目標
2000年に同じく国連で採択されたMDGs(Millennium Development Goals)をベースに、向こう15年間で(2030年迄に)実行、達成すべき事項を整理(17のゴール、169のターゲット、230の指標)

2030年に向けた
国際目標



17のゴールと
169のターゲット



230の指標による
達成度の評価

先進国・途上国
全ての国に適用

自治体等の
取組への期待

コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築

環境価値の創造

CO2排出削減

中心市街地活性化 循環 等

経済的価値の創造

行政コストの抑制 新産業の創設
農山村社会の再生 中心市街地の活性化
地場産業の発展 雇用創出 等

社会的価値の創造

地域コミュニティの活性化
ソーシャルキャピタルの醸成
地域医療 介護 健康 安全安心 等

環境・社会・経済のイノベーションによる未来に開かれた都市へ

生活の質と環境が調和した「満足度の高い暮らし」の創生により、
持続型社会を実現